



「任意後見サポーター®」養成講座～  
任意後見を正しく知って、  
認知症に事前準備しよう～

代理権・任意後見契約書・任意後見監督人について学びました。



2019年6月13日（木）

第5回目も、行政書士 加賀雅典先生の講座です。  
毎回重要な内容ですが、今回は「任意後見」の核となる  
内容のため、早い時間からいらっしゃる受講生も多く、  
欠席者ゼロの講座でした。

前回同様、まず講座の冒頭に加賀先生より直近の活動のご報告が  
ございました。

講座内容は、「代理権」「任意後見契約」  
「任意後見監督人」についてです。

「代理権」は、委任者が受任者にどのようなことをお願い  
するのかを決める非常に重要なポイントです。

まず、何ををお願いするのか分からない方が多いため、  
協会が発行した「サポートキット」を参考にして、  
どのようなことをお願いできるのかを学びました。

また、代理権を限定してお願いする場合と、広範にお願  
いする場合のメリットやデメリットについても学びまし  
た。

「任意後見契約」では、契約書を作る際に用意する書類  
や費用、作成のポイントについて学びました。

また、任意後見契約は公証人の面前で委任者・受任者が  
そろって契約を交わしますが、その公証人の役割りにつ  
いても教えていただきました。

最後は、任意後見が開始された時に選任される「任意後  
見監督人」について、誰がどのように選任するのか等々  
、選任手続の流れについて学びました。

次回も行政書士で協会理事の加賀雅典先生の講座です。

講 師：加賀雅典（協会理事・行政書士）

理事長：佐々和亮

事務局：秋元美香利

